

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

平成 27 年度 事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

平成 27 年度もゴルフ界はデフレ傾向が続き、当会の会員ゴルフ場を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。平成 27 年度入場者数は前年対比まだ判明していませんが、速報値などから前年度と同程度になると推定しています。

このような状況のなか、当会はこれまでの収入構造、事業内容の抜本的な見直しを図りました。

創立時より、golferからの緑化協力金をもとに推進している地方緑化事業、全国緑化事業に加え、災害復興支援を目的とする「植樹緑化事業」として、広く、個人、団体、法人サポーターに、ご支援、ご協力をいただきました。平成 25 年度より、福島県はフォレストパークあだたらに「さくら公園」をつくる事業に取り組んでまいりました結果、600 本のさくら苗木の植樹が完了しました。その公園の中心には住友林業株式会社様がクローン技術によって開発された秀吉の花見で有名な「醍醐寺のしだれさくら」が植樹されています。そこには掲示板を設置し、ご支援頂いた方々のお名前を表示しました。この掲示板につきましては、ホームページに掲載しています。600 本のうちホールインワンをされた方々からのご寄付により 260 本の記念植樹をしていただきましたので、ご自分のさくらがどのように大きくなったか、足をお運びいただければと願っています。

また、東日本大震災復興支援事業として、海岸でのクロマツ苗の植樹会やシンポジウムを開催したり、宮城県沿岸部で津波被害に遭われた方々のための岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会の公園に芝生を植樹したりいたしました。

「ゴルフ場の樹木管理セミナー」を今年度も東日本地区と西日本地区で開催いたしました。

緑化・環境保全の取り組みはもとより、golferの緑化貢献顕彰制度の充実やゴルフ場のもつ多面的な社会貢献活動の周知にも努めました。

ゴルフ界活性化のため、ロハスフェスタの会場でゴルフを知らない子供たちによるパット大会を開催しました。350 人ものジュニアが参加し、楽しくパッティングゲームをしてくれたので、今後も続けていきたいと感じています。

また、設立以来 40 年近くを経て硬直化がみられた当会の体質改善を図るため、事務局の管理改善に引き続き努力を続けています。

当会が発足した頃とはゴルフ界の環境も激変していますので、ゴルフの活性化へ向けて業界の方々と協力していきたいと考えています。

2. 会員増等への取組み

(1) 会員ゴルフ場の維持・拡大

厳しい事業環境が続く中、会員の維持・継続にも努めてまいりましたが、当期の新規入会はありませんでした。

(2) 賛助会員・寄付金の拡大

多くの賛助会員や企業等からご支援をいただいています。また、ホールインワン・アルバトロスを達成されたゴルファー88名の方々、グリーン&エコ「熱烈ゴルファー」賛同者、永年緑化貢献「エージシュート大賞」受賞者や、環境イベントのロハスフェスタ実行委員会からもご寄付をいただきました。

3. 地方緑化事業

(1) 緑化協力金の配分

ア. 平成 27 年 9 月（第 77 回配分・平成 27 年 1 月～6 月協力金分）と平成 28 年 3 月（第 78 回配分・平成 27 年 7 月～12 月協力金分）に、地方緑化事業費として合計 43.3 百万円を[表 1]の各団体に配分しました。

[表 1] ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業の内容と地方緑化事業費 配分額 合計 43,348 千円
① 一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進 委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設など 社会公共施設への植樹 27,457 千円
② 国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体 等	国立公園等の環境・美化緑化活動 541 千円
③ 河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川および その近傍における植樹等 15,350 千円

イ. 昭和 52 年度の第 1 回から第 78 回までの地方緑化事業費の累計は 6,505 百万円となりました。

(2) 地方緑化事業

当会が配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、昨年度に続き、学校、老人福祉施設、公園など社会公共施設への植樹を行っています。

なお、個々の植樹に際しては、会員ゴルフ場名を記載した標識の設置や、児童・学校長等から協力ゴルフ場へのお礼状の送付について各緑化推進委員会を通じてお願いするなど、地域社会とゴルファー・会員ゴルフ場との連帯意識の醸成に努め

ました。また、社会環境の変化に応じて植樹以外にも植栽樹木のメンテナンス、花壇の造成、花の種の配布など、地域で喜ばれる緑化・環境整備活動などを行っています。

4. 全国緑化事業

当会では「全国緑化事業」として、全国的視点に立った環境緑化・環境保全事業を「地方緑化事業」以外に実施していますが、実施した主なものは次のとおりです。

(1) 緑化事業

マツ枯れ対策

「松くい虫防除対策」として、東大千葉演習林で行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究を助成いたしました。また、同演習林で養成した抵抗性マツ苗木を会員、非会員を問わず希望される全国のゴルフ場に配布しました。

(2) 植樹緑化事業

ア. ふくしま「絆のさくら」プロジェクト

平成 25 年度より（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団、（公社）福島県森林・林業・緑化協会と当会の 3 者で進めてまいりました「ふくしま県民の森、フォレストパークあだたら」（福島県大玉村）に 600 本のさくら苗木を植え、「憩いの『さくら公園』をつくるプロジェクト」は、趣旨に賛同する個人、企業、団体の方々の寄付によって、平成 27 年 11 月に完成いたしました。会員の名前をネームボードに掲示しています。個人・企業あわせて 535 の方々にご支援をいただきました。

イ. 岩沼市玉浦西地区まちづくり支援事業

「緑豊かで水辺のある景観のよいまち」を目標のひとつとして、住民主体で新しいまちづくりを進めている岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会（宮城県岩沼市）を支援いたしました。集団移転先、居住地域にある公園広場に芝・肥料を提供。専門家による指導も行いました。また、特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構のご厚意により芝刈機をご寄贈いただき、提供いたしました。さらに当機構の「ターフ・エキスパートバンク」を利用し、芝刈機の取扱い方法や芝草の刈込方法を指導するため、専門家を派遣いたしました。必要に応じて、現地へ専門家を派遣し、順調に芝が生育しています。また、住友林業株式会社のご尽力により、『醍醐の桜』を平成 28 年 3 月 22 日に植樹しました。活気ある新しいまちのシンボルになることでしょう。

ウ. 東日本大震災復興支援事業

海岸林等津波災害を受けた緑地復興の支援として、名取ハマボウフウの会「ゆりりん愛護会」に海岸クロマツ林再生のための助成を行い、宮城県名取市、仙台市、七ヶ浜等に地域住民や小学生等対象に、マツ苗の植樹会を開催しました。また、農業・農林高校等を対象に、微生物の働きを生かした園芸植物やマツ苗の育苗法を学習、実践する特別授業を、さらに一般市民を対象に、海岸林再生について考えるシンポジウム、公開討論会を行いました。

(3) 特別事業

ア. 安全対策と景観保持の樹木管理技術

平成 23 年度から、ゴルフ場やその周辺の樹木・樹林地を健全に管理していただくことを目的に、特にマツ枯れ、ナラ枯れ等の樹木病害の防除技術研修をゴルフ場経営者、管理者(グリーンキーパー等)、及び造園技術者やこの事業に関心を持つ人々を対象に「ゴルフ場の樹木管理セミナー」として、平成 23 年度から 5 年間の計画で(一社)日本ゴルフ場経営者協会(NGK)との共同事業により、(一財)日本緑化センターを事務局として実施しています。

平成 27 年度は、今年 2 月 26 日に東日本地区セミナーを八王子カントリークラブ(東京都)で、また 3 月 7 日に西日本地区セミナーを平尾カントリークラブ(愛知県)で開催し、多くの方々に受講いただきました。参加者は東日本地区で事務局関係者等 24 名を含む 100 名、西日本地区で事務局関係者等 23 名を含む 60 名でした。

イ. ゴルフ場の生物多様性調査に基づく管理技術の普及啓発

平成 26 年度に実施した「ゴルフ場の樹木管理アンケート」、及びヒヤリング調査をふまえ、補足調査を行い、ゴルフ場の健全な樹木・樹林管理に資するため、プレーエリアの樹木管理方針、樹木を剪定・伐採・移植する判断の目安と適切な施工方法、マツ枯れの適切な防除方法、除間伐材の活用方法、芝草の育成と両立する樹木の考え方、非プレーエリアの樹木管理方針に関するガイドライン「ゴルフ場の樹木管理ガイドライン」を作成しました。芝生と樹木を一体に管理する地域にある施設向けに活用できる内容となりました。

ウ. ロハスフェスタへの後援

平成 27 年 4 月 24 日・25 日・26 日開催の「第 23 回ロハスフェスタ in 万博公園」(於: 万博公園 東の広場/大阪府吹田市)、平成 27 年 5 月 15 日・16 日・17 日開催の「第 1 回ロハスフェスタ in 淡路島」(於: 国営明石海峡公園(淡路地区)芝生広場/兵庫県淡路島)、平成 27 年 5 月 30 日・31 日開催の「第 2 回ロハスフェスタ in 広島」(於: 旧広島市民球場跡地/広島県広島市中区)、平成 27 年 9 月 26 日・27 日開催の「第 6 回ロハスフェスタ in 東京」(於: 光が丘

公園/東京都練馬区)、及び平成 27 年 10 月 31 日・11 月 1 日・2 日・3 日、11 月 7 日・8 日開催の「第 24 回ロハスフェスタ in 万博公園」(於: 万博公園 東の広場/大阪府吹田市) を後援しました。参加(入場者)は、春の大阪 3 日間で 87,635 人、淡路島 3 日間で 30,220 人、広島 2 日間で 33,960 人、東京 2 日間で 51,541 人、秋の大阪 6 日間で 95,004 人でした。来場者、出展者、協賛企業、主催者が一体となって地球温暖化防止策に向けた行動を実践することを目的としています。環境や健康に配慮したワークショップを実施。また廃油の回収をし、会場内で使用する発電機の BDF 燃料として再利用するなど環境啓発の取り組みを実施。来場者アンケートの声から、楽しみながら CO₂ 削減や環境保護について考えるイベントとして、好意的な評価をいただきました。

エ. ロハスフェスタへの参加

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、毎年後援しているロハスフェスタに出展参加しました。平成 27 年 9 月 26 日・27 日開催の「第 6 回ロハスフェスタ in 東京」(於: 光が丘公園/東京都練馬区)に、ブースをだし、ゴルフを知らない 12 歳以下のジュニアを対象に、大きなカップ(約 21cm)によるパッティングゲームを行いました。新規ジュニアゴルファーの開拓につながることを願い、楽しく、ゴルフの原点を知ってもらう機会を提供。天候にはあまり恵まれませんでしたが、2 日間で、350 名、平均 6.04 歳の子供たちが参加してくれました。

オ. ゴルファーの緑化貢献の顕彰

会員ゴルフ場でのプレーを通じて緑化事業に貢献いただいたゴルファーの方々を顕彰する制度として平成 19 年度にスタートした『年間最多プレー「緑化貢献大賞」』と『永年緑化貢献「エージシュート大賞」』は好評を得ています。平成 27 年度は「緑化貢献大賞」が 19 名、「エージシュート大賞」が 23 名で、それぞれ達成された会員ゴルフ場を通じて表彰していただきました。

[表 2] 緑化実績

区 分	平成 27 年度実績		累 計	
	植樹ヶ所	植樹本数	植樹ヶ所	植樹本数
	ヶ所	千本	ヶ所	千本
地方緑化事業	67	17.1	6,305	1,621.2
全国緑化事業	17	2.4	2,579	434.1
合 計	84	19.5	8,884	2,055.3

(4) 賛助事業

ア. 自然保護 NGO への助成

当会の資金により設立された「公益信託自然保護ボランティアファンド」を通

じ「六甲山を活用する会」など国立・国定公園内の緑化・環境整備等を実施している NGO 等 20 団体への助成を行いました。昭和 61 年 10 月のファンド創設以来の支援は、延べ約 533 件、累計約 173.2 百万円に達しています。

イ. 環境緑化行事への協賛等

環境省・林野庁・都道府県等が企画する「みどりの感謝祭」や「緑の募金」、「緑の東京募金」など、各種行事に協賛しました。

(5) 創立 40 周年記念事業

平成 28 年度は、当会創立 40 周年を迎えます。記念事業の一環として、平成 27 年度下期より、開始いたしました。

ア. 東日本大震災復興事業（千葉県旭市）

津波による被害を受けた旭市において、海岸林の再生、及び防災機能の回復とともに、森林やみどりづくりの大切さについて普及啓発をはかっていくことを目的とする「旭復興事業 2015」を、(公社) 国土緑化推進機構、(公社) 千葉県緑化推進委員会と協働で実施。平成 28 年 2 月 19 日には、地元小学生ら 100 名によるマツ等 1,664 本の植栽イベントを開催し、みどりづくりの大切さを学んでもらう機会を提供しました。

イ. 東日本大震災復興事業（茨城県神栖市）

被災した神栖市矢田部地内の市有海岸防災林の復旧をはかるため、抵抗性マツの植栽を目的とする「平成 27 年度東日本大震災復興事業」を、(公社) 国土緑化推進機構、(公社) 茨城県緑化推進機構と協働で実施。平成 28 年 2 月 18 日には、地元小・中学生ら 350 名による抵抗性クロマツ 1,596 本の植栽イベントを開催し、森林林業体験学習の機会を提供しました。

ウ. 「自然がつながるビオトープ」

平成 27 年 11 月 7 日、三鷹市立第二中学校体育館跡地約 800 m²において、神代植物公園生物多様性センターの方々の専門的アドバイスをもとに、同校地球環境部生徒たちが、「自然がつながるビオトープ」の一部として整備しました。問題点の指摘が多いグラウンド利用の芝生化ではなく、人が集えるスペースとしての芝生化を念頭におき、ビオトープとの連携をはかり、新しい学校芝生のあり方を模索することを目的に実施。また、小 5 から中 3 の生徒たちが、その芝生に自分たちでコースをつくり、パターゴルフ大会を行い、学校芝生の新しい活用方法の可能性を実感する機会となりました。

エ. 「木を植えるゴルファーになろう」出前授業を実施

平成 27 年 12 月 10 日、NPO 法人緑のダム北相模との共催でハイランドセンター練習場（東京都杉並区）において、中学生のジュニアゴルファー対象に、ゴル

フ場と環境との調和、里山としての価値を考えるワークショップを実施しました。生物多様性が高い水辺に公園、住宅、農地、工場、そしてゴルフ場を、お互いの利点を損なわないように配置するにはどのようにしたらいいかをロールプレイ形式で行い、グループ毎に発表しました。過去のゴルフ場にまつわる環境汚染や森林伐採などを取り上げた書籍や記事、及び現在の環境に配慮したゴルフ場の取り組みなども紹介。環境問題を意識するゴルファーの育成につながる活動となりました。

オ. 縣和一九州大学名誉教授 研究発表

ゴルフ場の地球温暖化防止に寄与する CO₂ の吸収、O₂ の発生の最新データの取りまとめを一季出版株式会社の協力を得、縣和一九州大学名誉教授（前西日本グリーン研究所所長）に依頼し、ゴルフ界に発表いたしました。2008年に発表した当時より、約 10%バイオマス生産量、CO₂吸収量が少ないことが試算されました。これは、ゴルフ場数減少（約 5%）による植生地面積の減少による影響とみることができます。しかしながら、現在、全国 2,276 のゴルフ場により健全な緑地生態系が維持されていることは、大気の浄化、温暖化防止の視点から貴重な存在で、種の多様性の保全、治水、防災機能に優れております。特に過疎化が進行している地域のゴルフ場の存在は、公益的な里山緑地生態系の拠点として、今後過疎化地域の発展の原動力になることが期待されています。

カ. テレビを通じ、ゴルフの健康効果・ゴルフ精神の重要性アピール

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及びゴルフ界の活性化を目的として、「ゴルフ 100 年先に伝えたいこと 2016」とのタイトルで、ゴルフ専門チャンネル、ジュピターゴルフネットワークで、2016 年 1 月～2 月、テレビ放送しました。「第一章ゴルフ黄金期に学ぶ」「第二章ゴルフと健康」と 2 話構成で、ゴルフ殿堂入りしているプロゴルファー、石井朝夫氏をゲストに迎え、今の、そしてこれからのゴルフ界に必要なこと、礼儀とマナー、ゴルフ精神の重要性、ゴルフの健康効果等、大いに語っていただきました。さらにはゴルフ場に出て、何歳になってもゴルフを楽しめるシニアのための実践ゴルフアドバイスを披露。氏が自ら加齢と共に追求し変化させてきた独自の方法、秘訣を伝授。有意義な番組となりました。また、当会の活動報告や、事業内容を紹介し、支援を PR する絶好の機会といたしました。

5. その他の活動

(1) 事業 PR 等

ア. ゴルフ業界誌「ゴルフ場セミナー」「ゴルフマネジメント」などを通じてゴル

- フの活性化を念頭に、提言や事業活動の広報・PRを積極的に実施しました。
- イ. 当会やゴルファー・ゴルフ場の行っている環境貢献活動を広く一般に周知する活動として、当会の主な緑化事業等を適宜報道資料にまとめて媒体各社に提供するなど、パブリシティ活動を実施しています。
 - ウ. ホームページ (<http://www.ggg.or.jp/>) については、Facebook を通じて最新情報を発信し、当会の活動の周知に努めてまいりました。
 - エ. 環境大臣による会員ゴルフ場の表彰の実施をお願いしてまいりましたが、平成 27 年度は、「東我孫子カントリークラブ」が『『みどりの日』自然環境功労者環境大臣表彰』を受賞されました。
 - オ. 協力ゴルフ場に対する各県による顕彰を繰り返し要請してまいりました。一例として、平成 27 年度は、(公社)千葉県緑化推進委員会から「ザ・カントリークラブ・ジャパン」が、(公社)埼玉県緑化推進委員会から「ザ ナショナルカントリー倶楽部 埼玉」「太平洋クラブ 江南コース」が、それぞれ表彰され感謝状を受けています。

(2) ゴルフ界活動への参画

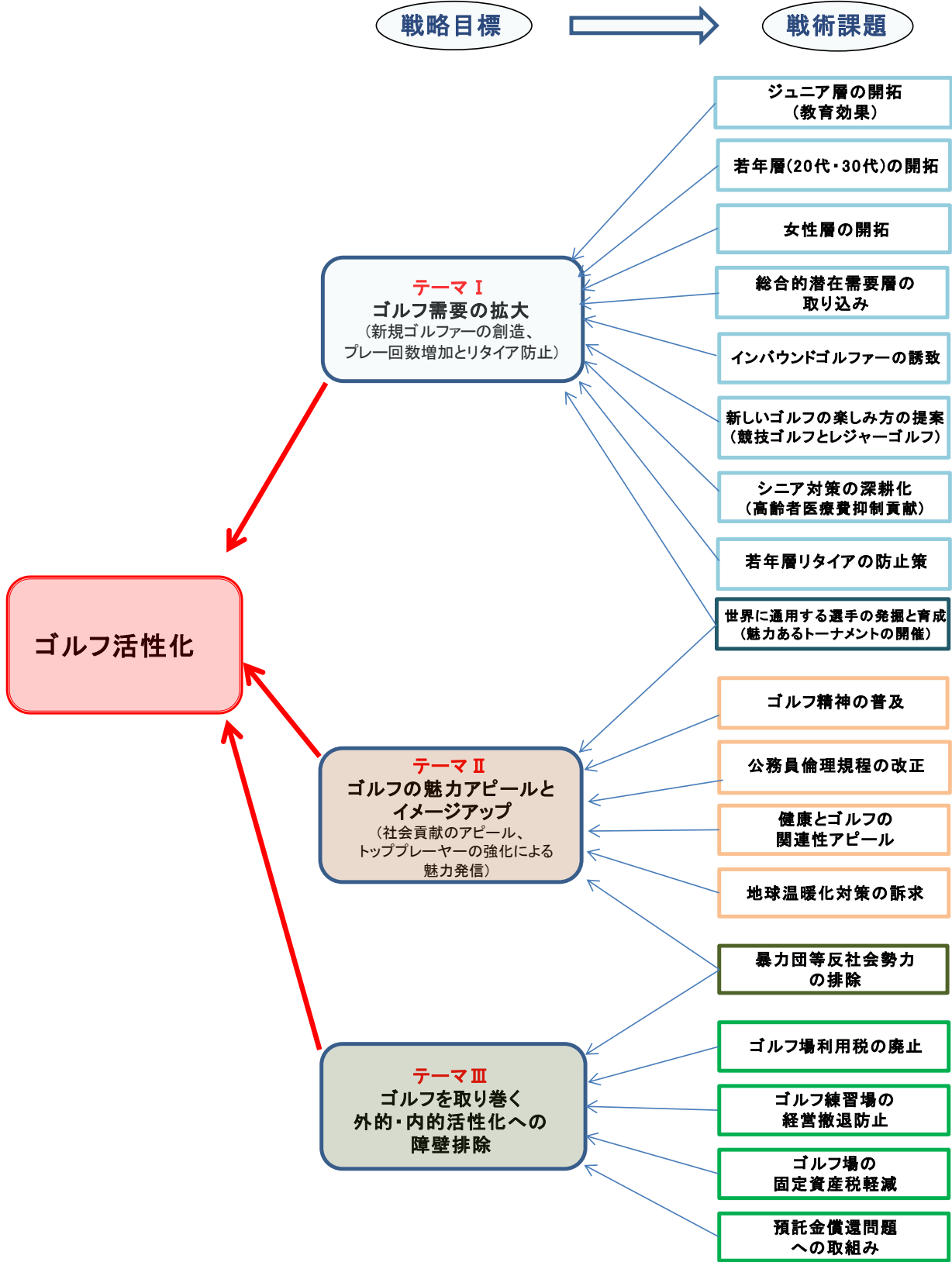
日本のゴルフ界全体、及び日本ゴルフサミット会議が取り組むゴルフ活性化のための戦略目標である、「テーマⅠ：ゴルフ需要の拡大」、「テーマⅡ：ゴルフの魅力アピールとイメージアップ」、「テーマⅢ：ゴルフを取り巻く外的・内的活性化への障壁排除」に即した活動も積極的に行いました。

テーマⅠ：8月第一週の「ゴルフウィーク」に、ゴルフ場の近隣在住ジュニアを募集し、ゴルフ場とはどういうところか、また、ゴルフとはどういうものかを知ってもらうため、ゴルフ場でパッティングゲームコンテストを開催してもらいました。ジュニア層の開拓につながる活動です。特別事業としてご報告した「ロハスフェスタへの参加」も同様です。

テーマⅡ：当会創立 40 周年記念事業の一環として行いましたテレビ放送において、「ゴルフ精神」の重要性、及び「健康とゴルフの関連性」をアピール。また、ゴルフ場の地球温暖化防止に寄与する CO₂ の吸収、O₂ の発生の最新データを発表しました。そして、「国家公務員倫理規程における『ゴルフ』の削除」などの活動も日本ゴルフサミット会議の一員として参画し、ゴルフの魅力アピールとイメージアップに努めました。

テーマⅢ：「ゴルフ場利用税廃止運動」にも、日本ゴルフサミット会議を通じて積極的に参加しています。さらには、ゴルフ界活性化の一翼を担うため、日本ゴルフジャーナリスト協会主催のタウンミーティング「ここがヘンだよ。日本のゴルフ界」を後援。同時にパネリストとして参加し、ゴルフ界へ向けて様々な提言をしました。

ゴルフ市場活性化のための戦略目標と主要戦術課題



平成 27 年度 各種会議の開催状況

1. 理事会・総会の開催状況

(1) 理事会

第 1 回理事会

日 時 平成 27 年 5 月 14 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席者 11 名、監事 1 名、計 12 名

(理事総数 15 名)

議 事

1. 平成 26 年度 貸借対照表及び損益計算書 (正味財産増減計算書) 並びにこれら附属明細書の承認について

第 2 回理事会

日 時 平成 27 年 5 月 28 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席者 14 名、監事 2 名、計 16 名

(理事総数 16 名)

議 事

1. 役職理事の選任について

第 3 回理事会

日 時 平成 27 年 11 月 19 日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席者 14 名、監事 2 名、計 16 名

(理事総数 16 名)

議 事

1. 平成 27 年度 上半期事業執行状況 (事業報告等) の件
2. 平成 27 年度 上半期中間決算報告の件
3. 平成 27 年度 下半期収支見通しの件
4. 決算方法 変更の件

第 4 回理事会

日 時 平成 28 年 3 月 23 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

議 事

1. 1 平成 28 年度 事業計画 (案) の件
2 平成 28 年度 収支予算 (案) の件
2. 特定費用準備資金の取崩の件
 - ① 被災地復興支援事業 及び 創立 40 周年事業積立資金の取崩について

- ② 緑化事業準備資金の取崩について
- 3. 副理事長、及び常任理事 選任の件
- 4. 1 特定個人情報等の取扱いに関する基本方針（案）の件
- 2 特定個人情報取扱規程（案）の件
- 3 就業規則の変更の件

報告事項

- 1. 平成 27 年度 事業報告書
- 2. 平成 27 年度 各種会議の開催状況
- 3. 平成 27 年度 会長・理事長・副理事長 業務執行状況

(2) 定時社員総会

日 時 平成 27 年 5 月 28 日（木） 14：00～15：00
場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京
出席数 出席者 25 名、委任状出席 53 名、計 78 名
(会員総数 109 名)

議 事

- 1. 平成 26 年度 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）、並びにこれらの附属明細書について
 - (1) 定款一部変更について
 - (2) 役員を選任について
 - (3) 特定費用準備資金について
- 2. 報告事項
 - (1) 平成 26 年度 事業計画について
 - (2) 平成 27 年度 事業計画並びに収支予算について

2. 常任理事会の開催状況

第 1 回 平成 27 年 4 月 16 日（木）

議 事

- 1. 平成 27 年 3 月度 月次経理について
- 2. (公社) 千葉県緑化推進委員会「平成 26 年度 緑化促進協力ゴルフ場」の推薦について
- 3. 平成 27 年度 第 1 回理事会・定時社員総会の議題について
- 4. 東日本大震災復興支援事業「ゆりりん愛護会」平成 27 年度 事業計画・事業予算について

報告事項

- (1) 第 49 回ジャパンゴルフフェア 2015 開会式について

- (2) (公社) 埼玉県緑化推進委員会「平成 27 年度 第 1 回理事会」について
- (3) 九州緑化促進協力会「平成 26 年度 第 2 回理事会」について
- (4) 「平成 26 年度 第 2 回緑化委員会」の「議事要旨報告」、並びに「平成 27 年度 第 1 回緑化委員会」の開催について
- (5) 平成 26 年度 東日本大震災復興支援事業による千葉県白子町海岸保安林復興植樹祭について
- (6) (公社) 埼玉県緑化推進委員会「平成 27 年 定時総会・理事会」について
- (7) (公財) 河川財団「平成 26 年度 第 5 回理事会」について
- (8) (公財) 日本さくらの会 設立 50 周年記念「第 50 回 さくら祭中央大会」について

その他

第 2 回 平成 27 年 5 月 14 日 (水)

議 事

1. 平成 27 年度 定時社員総会・理事会について
2. IOC から「2020 年オリンピック・パラリンピック」に向けた提案について
3. 8 月第 1 週の「ゴルフウィーク」のスキームについて
4. 平成 28 年度からの「ボランティアファンド」のスキームについて
5. 「日本芝草学会 2015 年度 春季大会」への後援について
6. 飯塚青年会議所 環境委員会委員長からの提案について

報告事項

- (1) 平成 26 年度 東日本大震災復興支援事業実績報告
 ※白子町海岸保安林整備事業について
 ※海岸クロマツ林再生の為に菌根菌と木炭を活用したクロマツ苗木育成に関する
 取り組みについて (ゆりりん愛護会)
- (2) 「日本ゴルフサミット会議 第 71 回 運営会議」について
- (3) 「第 25 回 みどりの感謝祭」について

その他

第 3 回 平成 27 年 6 月 24 日 (水)

議 事

1. 平成 27 年 4 月度・5 月度 月次経理について
2. 平成 27 年度 第 1 回「緑化委員会」開催について
3. 平成 28 年度からの国立公園等自然環境保全事業への助成実行について
4. 「賛助会員」入会のお願いとその用途について

報告事項

- (1) 「岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会」について
- (2) 「第 66 回 全国植樹祭」について
- (3) (公社) 埼玉県緑化推進委員会「ゴルフ緑化促進会委託事業部会」について

- (4) 「第 69 回 群馬県植樹祭」について
- (5) (公社) 千葉県緑化推進委員会「平成 27 年度 定時総会」について
- (6) 「さくらの会」報告について
- (7) (一財) 日本緑化センター「ゴルフ場の樹木管理アンケート結果報告書」、
「ゴルフ場の樹木管理ガイドライン」について
- (8) 日本ゴルフ関連団体協議会「平成 27 年度 第 2 回理事会」について
- (9) 「日本ゴルフサミット会議 第 72 回 運営会議」について
- (10) (公財) 東京都公園協会「平成 27 年度 第 1 回東京都都市緑化基金運用委員会」について
- (11) (公社) 国土緑化推進機構「平成 27 年度 第 2 回理事会」について
- (12) (一社) 日本森林学会、日本芝草学会の入会について
- (13) 平成 27 年度 第 1 回「緑化委員会」開催について
- (14) 「GGG 概要」の改訂版について

その他

第 4 回 平成 27 年 7 月 22 日 (水)

議 事

1. 平成 27 年 6 月度 月次経理について
2. JGJA 主催 ゴルフ界タウンミーティング
日本ゴルフジャーナリスト協会への後援について
3. ジュピターゴルフネットワーク「ゴルフ 100 年先に伝えたいこと」
創立 40 周年企画の一環としての広告出稿について
4. (公財) 河川財団 業務執行理事 丹上健 氏 河川財団を退職
5. 「第 4 回 ロハスフェスタ in 東京・光が丘公園芝生広場 (練馬区)」で
の環境保全協賛事業について

報告事項

- (1) 8 月第 1 週『ゴルフウィーク』GGG の取組みについて
- (2) 全米オープンゴルフ会場に取り入れた「WABI-SABI」の精神について (三品
智加良氏)
- (3) 「岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会」報告について
- (4) 東京商工会議所港支部「会員交流・名刺交換会」について
- (5) 程ヶ谷カントリー倶楽部の訪問について
- (6) 自民党ゴルフ振興議員連盟総会について
- (7) 「2015 年 第 2 回日本ゴルフサミット会議」について
- (8) 内閣府「立入検査」について
- (9) 平成 28 年度「定時社員総会」議題：「定款」の変更について
- (10) 「賛助会員」入会のお願い：「改訂版」について
- (11) 460 万トンの CO₂ を吸収する他、最新データ情報の発信について
- (12) 「緑のダム北相模・地球環境部」News Letter 6 月号、7 月号について

その他

第5回 平成27年9月17日(木)

議事

1. 平成27年7月度・8月度 月次経理について
2. 内閣府「立入検査」の講評について
3. 第77回 緑化協力金(地方緑化分)の配分について
4. 「あらまし」改訂版について
5. 「定款・諸規程」見積内容の検討について
6. 「グリーン・エージ:2015年9月号」について
7. 創立40周年記念事業: 縣教授の調査研究に関する情報発信について

報告事項

- (1) (NPO) 日本芝草研究開発機構「サステナビリティ」事業展開について
- (2) Golf Review「追い風・向かい風」(平成27年8月20日号)について
- (3) 「グリーンモアが復興を後押し」(「ゴルフ場セミナー9月号」)について
- (4) 津久井湖ゴルフ倶楽部 訪問について
- (5) JGJA主催「タウンミーティング」について
- (6) ゴルフウィーク「パッティングコンテスト」実施について
(ゴールドンバレーGC、ザ・サイプレスGC、GC ゴールドウィン)
- (7) 平成27年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰「応募書類」提出について
- (8) 程ヶ谷カントリー倶楽部の訪問について
- (9) (一財) 日本緑化センター「ゴルフ場の樹木管理ガイドライン」検討委員会
(第3回) について
- (10) 「日本ゴルフサミット会議 第74回 運営会議」について
- (11) (公社) 国土緑化推進機構 平成27年度 定時総会について(報告事項 2 特定費用準備資金について)
- (12) GEN(緑の地球ネットワーク)のゆりりん植樹祭について
- (13) (公財) 河川財団 理事会「河川緑化事業」、「組織規程等の改正」について
- (14) 「第6回 ロハスフェスタ in 東京・光が丘公園」開催について
- (15) 「緑のダム北相模・地球環境部」News Letter 8月号について

その他

第6回 平成27年10月23日(金)

議事

1. 平成27年9月度 月次経理について
2. 「第3回 理事会」の議題について
3. (公社) 岩手県緑化推進委員会「岩手県民の森」サクラ植樹事業について
4. ジュピターゴルフネットワーク: 平成28年1月~3月放送について
(日本プロゴルフ殿堂入り 石井朝夫プロ・大西理事長 対談)
5. (公社) 国土緑化推進機構「東北復興海岸林再生事業」について
6. 六甲アイランド パッティングコンテストについて

7. 緑化委員からの創立 40 周年事業提案について
8. 日本ゴルフジャーナリスト協会 タウンミーティングについて

報告事項

- (1) 「超党派ゴルフ議員連盟」総会について
「日本ゴルフサミット会議 第 75 回 運営会議」について
- (2) 「第 6 回 ロハスフェスタ in 東京・光が丘公園」出展 について
- (3) 「環境省 地球環境局地球温暖対策課国民生活対策室より」事業提案 について
- (4) 「第 39 回 全国育樹祭」について
- (5) 「熊本第一ライオンズクラブ 結成 50 周年記念大会」について
- (6) 「(NPO) 日本芝草研究開発機構」ターフエキスパートバンク専門家〈岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会〉派遣について
- (7) 「あらまし」 改訂版 について

その他

第 7 回 平成 27 年 11 月 19 日 (木)

議 事

1. 平成 27 年 9 月度 (決算後) 月次経理について
2. 平成 28 年度「みどりの日」環境大臣表彰の推薦ゴルフ場について
3. 平成 27 年度の苗木配布 (抵抗性松苗木) について
 - ① 全国緑化事業「支払助成金 東大千葉演習林」支払の承認
／平成 27 年度抵抗性松苗木の配布に関する承認
 - ② 会員ゴルフ場への苗木配布ご案内／申込連絡票 (案)
4. 創立 40 周年記念事業について

報告事項

- (1) 「日本ゴルフサミット会議 第 76 回 運営会議」について
- (2) 緑化委員プロジェクト パッティングゲームについて
- (3) RIC SPORTS EXPO について
- (4) ジュピターゴルフネットワーク収録 (於：ザ・サイプレス GC) について
- (5) (公社) 岩手県緑化推進委員会・県民の森 打合せ・視察について

その他

第 8 回 平成 27 年 12 月 15 日 (火)

議 事

1. 平成 27 年 10 月度・11 月度 月次経理について
2. 創立 40 周年記念事業について

報告事項

- (1) 日本ゴルフサミット会議関連 報告
- (2) ゴルフ場の樹木管理セミナーについて
 - i. 東日本地区開催 (2 月 26 日) 於：八王子 CC (東京都八王子市)

ii. 西日本地区開催（3月7日） 於：平尾CC（愛知県豊川市）

- (3) (公社) 岩手県緑化推進委員会「岩手県県民の森」植樹 協定書締結について
- (4) ジュピターゴルフネットワーク放映スケジュールについて
- (5) 退会希望 会員ゴルフ場について

その他

第9回 平成28年1月20日（水）

議 事

1. 平成27年12月度 月次経理について
2. (公社) 埼玉県緑化推進委員会「平成27年度 募金協力優秀団体」のゴルフ場推薦について
3. 「創立40周年記念事業について」
40-3「みやぎ海岸林再生みんなの森づくり活動」(宮城県森林インストラクター協会)
40-5「菌根菌によるマツ苗育成と海岸林再生」 (ゆりりん愛護会)
4. 賛助会員募集について

報告事項

- (1) (公社) 国土緑化推進機構との「創立40周年記念事業」打合せについて
- (2) 創立40周年記念事業
40-1 岩手県県民の森 植樹祭 5月28日（土）
40-4 神栖復興事業 植樹祭 2月18日（木）
旭復興事業 植樹祭 2月19日（金）
40-8 ゆりりん愛護会
5月14日（土） 13:00～16:00 講演／シンポジウム
- (3) 環境省との打合せ
自然環境局 国立公園利用推進室（田邊室長・濱尾室長補佐）
ボランティアファンドの主旨継続・国立公園内ボランティア団体への助成の件
- (4) (一財) 日本緑化センターとの打合せ、今後のGGGの事業について
- (5) (一社) 日本ゴルフ場経営者協会（NGK）との打合せ、今後の共同事業について
- (6) ゴルフ場の樹木管理セミナーについて（西日本地区）（3月7日）於：平尾CC

その他

第10回 平成28年2月23日（火）

議 事

1. 平成28年1月度 月次経理について
2. 第78回 緑化協力金（地方緑化分）の配分について

3. 創立 40 周年記念事業
 - ① (一財) 日本緑化センター提案事業について
 - ② 山元地区海岸防災林再生事業 植樹祭 日程について
4. 平成 28 年度予算案・事業計画について
5. 理事会 (3 月 23 日開催) について
6. 国立公園等自然環境保全事業継続 (ボランティアファンド後継) について

報告事項

- (1) 創立 40 周年記念事業提案について
- (2) 第 67 回全国植樹祭特別委員会について
- (3) (公社) 岩手県緑化推進委員会 サクラ植樹事業打合せ訪問について
- (4) 日本ゴルフサミット会議 特命委員会について
- (5) 平成 27 年度 第 2 回「緑化委員会」開催について
- (6) 創立 40 周年記念事業
 - 40-3 ④神栖復興事業 植樹祭 2 月 18 日 (木) 9:50~
 - ③旭復興事業 植樹祭 2 月 19 日 (金) 13:30~
- (7) (公社) 埼玉県緑化推進委員会 第 1 回理事会について
- (8) ジャパンゴルフフェア 2016 について

その他

第 11 回 平成 28 年 3 月 23 日 (水)

議 事

1. 平成 28 年 2 月度 月次経理について
2. 創立 40 周年記念事業について
3. その他

報告事項

- (1) 樹木管理セミナー 東日本地区 (八王子 CC) 2 月 26 日について
西日本地区 (平尾 CC) 3 月 7 日について
- (2) 東京都都市緑化運営委員会について
- (3) 内閣府 訪問 について
- (4) 樹木管理ガイドライン委員会について
- (5) 岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会 醍醐の桜 植栽について
- (6) その他

3. 緑化委員会の開催状況

第 1 回 平成 27 年 6 月 23 日 (火)

議 事

1. 平成 26 年度の事業報告及び決算報告、平成 27 年度の事業計画、並びに収支予算について

- ・創立 40 周年記念事業実施に向けたコメント
- 2. 創立 40 周年記念事業の検討
 - 1) 東日本大震災復興支援事業としての緑化活動
 - (1) 被災地に花の山
 - (2) 「ゆりりん愛護会」による海岸林復旧支援とその広報
 - (3) 岩沼市玉浦西地区：復興住宅地の緑化環境造成支援
 - (4) 環境省との創立 40 周年記念事業の協働実施可能性の検討
 - (5) その他
 - 2) 子供たちに芝生環境を普及する
 - (1) 芝生の維持改良活動の支援 + 周辺環境緑化活動管理支援
 - (2) 芝生で遊ぶ環境（ロハスフェスタを活かす芝生との触れ合い）
 - (3) その他
- 3. 平成 28 年度からの国立公園等自然環境保全事業への助成実行について
 - 1) 対象を検討
 - 2) 「募集要項」「募集方法」の検討
 - 3) 選考基準策定と選考委員の選出、選考委員会の位置づけ

第 2 回 平成 28 年 2 月 17 日（水）

議 事

- 1. 平成 27 年度実行事業、及び平成 28 年度実行予定事業の検討
- 2. 創立 40 周年記念行事に向けての事業検討
- 3. その他